

特集 スプリングスクール 2015 in 信州レポート

～ 様々な体験を通して、感性を磨いて

4月1日から3日まで、19名の子どもたち(小学生15名、中学生4名)と一緒に、早春の信州へ行ってきました。今年は例年より気温が高く、タカトオコヒガンザクラの開花直前で、つぼみがピンクに色づいていました。引率は、杉本久さん(群馬杉武館代表、愛称:すぎさん)、上田遥さん(京都大学大学院農学研究科1年、愛称:はるかにい)、と上田理恵子(マザーネット代表)の3名です。



信州高遠青少年自然の家の入り口に



1日目：例年より暖かい信州で、仲間たちと触れ合って

8:15 新大阪バスターミナルに集合。今回大阪からは、全員リピーターの子どもたち10名の参加となりました。

8:40 お母さん、お父さんたちに見送られて、アルペン伊那号が無事に出発。

9:00 新宿バスターミナルに集合。今回東京から初めて参加するのは、ひろきくん(小2)、のぶきくん(小3)、さとちゃん(小3)の3名です。総勢9名での出発です。

9:30 お母さん、お父さんたちに見送られて、新宿バスターミナルを無事に出発。「バスの中で、まおちゃんの歯が抜けました!」と引率のすぎさんからメールで報告が届きます。スクール中に抜けた歯は、大切に持ち帰ります。

10:50 多賀SAに到着。お昼ごはんは、小学生500円、中学生以上600円で、自分の体調に合わせ、好きな食事を選びます。



新大阪バスターミナルにて

12:10 恵那峡SAに到着。

12:50 東京組、伊那市バスターミナルに無事到着。大阪組を自然の家の迎えのバスの中で待ちます。

14:10 大阪組、伊那市バスターミナルに到着。バスの中では、方言の壁を越えて、すぐに打ち解けます。

15:10 信州高遠青少年自然の家によく到着。日陰には雪が残っています。

16:00 女子のログハウスでオリエンテーション。自己紹介では、名前、住んでいるところ、学校名、学年、将来の夢を発表しました。「消防士」、「警察官」、「お医者さん」、「美術家」、「作家」、「キャビンアテンダント」、「テニス関係」、「漫画家」など様々な職業があげられました。また「働いて稼ぐ」(こゆきちゃん)、「100歳以上に生きること」(ともひさくん)などの夢には、子どもたちから「おー!」という声があがりました。

16:30 プレイホールを貸し切って、ドッジボール、バドミントン、卓球などで遊びます。一緒にスポーツをすることで、初めて会ったメンバーとも打ち解けて行きます。

18:00 夕食はバイキング。体調に合わせて選べるので、安心です。今回は乳製品アレルギーのお友達が参加。事前に食堂としっかり打ち合わせをし、除去食を用意してもらいました。参加のお友達にもしっかり事情を話し、お菓子の交換などをしないよう、協力してもらいます。

19:00 希望者は勉強を持参し、「やる気スイッチON」の会が開催されました。

20:00 入浴。男女とも貸切だったので、たくさん泳げました!

20:30 入浴後はかくれんぼをしたりして、自由に過ごします。私のいるリーダー室に



新宿バスターミナルにて



初めての自己紹介はちょっと緊張して



勉強タイムは集中!



みんなで刺激あつて

も4人ほど隠れに来ていました。

22:00 就寝。どの学年が何時まで起きていてよいかは、子どもたちの話し合いで決めてもらうことにしました。



2日目：午前中は化学実験、午後はフライングディスクゴルフに挑戦！

6:00 起床。私が起こさなくても、すっきりと起きる女子たち。雲一つない晴天です。

7:20 朝食。

9:00 環境未来センターにて、上田遥先生による「サバイバルスタディ〜絶対に一人でやってはいけない実験」を行いました。

<プログラム>

1. コーラの噴射実験

目的：・コーラには二酸化炭素が大量に含まれていることを知る

・コーラにラムネを入れることで、反応のおもしろさを体験する

内容：2リットルのコーラに大量のラムネ菓子を入れ、1メートル近く噴射させた。

子どもの口にコーラを含んでもらい、そこにラムネを入れるが、反応は起こらなかった。

伝えたこと：食品と食品どうして、化学・物理的の反応が起こりうること。



2. 爆発たまご

目的：・電子レンジで殻つきの生卵を加熱調理すると爆発することを知る

・電子レンジの加熱の仕組みを知る（高学年以上）

内容：生卵をラップに包んで、電子レンジで加熱。約2分で爆発した。次にビーカーに水を入れ、その中に卵を入れて、電子レンジで加熱。子どもたちは、ゆで卵が出来ると予測。結果は、約2分で爆発。

伝えたこと：外からではなく、内側からの熱で卵が爆発すること。



3. 人エイクラの作成

目的：・人エイクラの作成方法を知る

・ビーカーや攪拌棒の扱い方を知る

内容：赤の着色料を溶かした1%のアルギンサンナトリウム水溶液を、ストローで1滴ずつ、0.4%塩化カルシウム水溶液に垂らしていき、イクラの膜を形成させる。

子どもたちは、それぞれビーカーを二つ使い、薬品も自分で測り、各自で溶液を作成した。

伝えたこと：本物の食品と人工の食品は、見分けがつかないところまで、化学技術が発達していること。また自分自身で、人工食品を作れること。



4. ミラクルフルーツを食べることによる味覚の変化体験

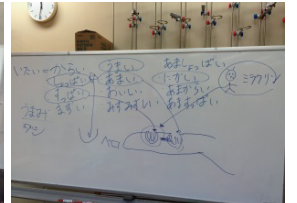
目的：・基本の5味（甘味、苦味、塩味、酸味、旨味）を知る

・味を認識する仕組みを知る

・味覚を変化させる食品の存在を知る

内容：梅干しまたはレモンを食べる。その後、ミラクルフルーツを一粒、口の中ですくがしながら食べる。その後、もう一度、梅干しまたはレモンを食べ、酸味が甘味に変化したことを体験する。

伝えたこと：ミラクルフルーツの中のミラクリンという成分が、舌の上の、酸味レセプターと甘味レセプターに作用し、梅干しやレモンの中の酸味成分があたかも甘味成分のように感じられた。味覚は変化するので、カップラーメンやお菓子など、刺激の強いものを食べすぎると、味覚が鈍感になってしまう危険性を伝えた。

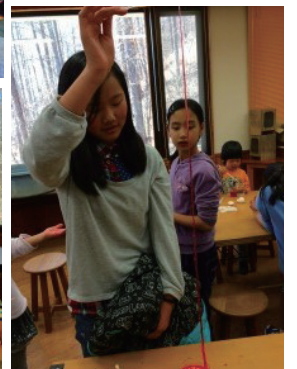


5. マヨネーズを作って見せる

目的：マヨネーズの中には、大量の油が含まれていることを知る

内容：生卵、適量の酢、大量のサラダ油をハンドミキサーで攪拌し、乳化させ、マヨネーズを作成する。

伝えたこと：マヨネーズには大量の油が含まれており、マヨネーズやドレッシングは控えめにし、野菜本来の味を楽しんでほしい。





ぽかぽか陽気の中で

18:00 夕食。

18:50 終わりの会。スクールで楽しかったことと、学んだことを発表してもらいました。楽しかったことは「フリスビー」、「りんちゃんと雪だるまを作った」、「ちさちゃんとかくれんぼした」、「爆発たまご」、「いくら作り」、「雪の投げ合い」、「夜ふかし」、「ミラクルフルーツ」などでした。「受験が終わり、スプリングスクールに参加できたこと」というけんたくんの意見には、「おー!」という声が上がりました。学んだことは、「実験」、「五感について」、「爆発たまごは危ない」、「人との交流」、「川に落ちないこと」、「沼に入らない」などでした。その後は、糸電話づくりをしました。最初は2人で、その次は、4人でと、だんだん仲間を増やしていきました。その次は、せいやくんによるトランプマジック。回を重ねる度に、本格的になってきます。最後は、お楽しみのビンゴ大会。希望の商品はゲットできたかな。

21:00 入浴。

22:00 就寝。



3日目：イチゴ狩りでは、競い合って、記録達成!

6:45 起床。今日はあいにくの雨模様です。

7:20 朝食。部屋に戻って、自分の荷物の整理と、お部屋の掃除をします。ごみはすべて持ち帰ります。

9:00 退所点検。布団の向きがあっているかなど、厳しいチェックを受けます。

9:30 自然の家を出発。途中、高遠町を通りますが、タカトオコヒガンザクラが開花間近でした。

11:00 イチゴ狩り体験。草姫、女峰、紅ほっぺの3種類のイチゴを、好みで練乳につけていただきます。最高は、みさとちゃんの110個!これはスクール史上最高値です。次点はまおちゃんの106個でした。



紅ほっぺが一番人気でした!



最高記録を達成したみさとちゃん(左)

げ、お惣菜など、予算内で好きなものを選びます。真剣に頭を使うので、算数の勉強にもなります。

16:15 大阪行きのバスが出発。

16:25 新宿行きのバスが出発。

19:50 新宿バスターミナルに到着。

21:35 新大阪バスターミナルに時間通りに到着。「帰りたくない」、「上田さん、日程が短すぎる!」と言っていた子どもたちも、迎えに来てくれたお父さん、お母さんをみると、うれしそうな表情に。次は、サマースクールで会いましょう!

今回は初めて、科学実験を取り入れてみました。コーラにラムネを入れると吹き出す姿を見て、目が輝く子どもたち。その後の「爆発たまご」では、近くに寄る子どもと、部屋が一番遠いところに耳をふさいで待機する子どもとに分かれました。

また、人工いくら作りは、全員が集中。ビーカーの中に薬品を入れ、ガラス棒でよく混ぜていきます。しかし、必死になって、ビーカーが割れてしまう子も。それを見た途端、全員がやさしく混ぜるようになりました。何事も体験してみないと、力加減がわからないものですね。そして、それぞれにいくらが出来上がっていました。いつもは写真のいやがるのに、「こんなの出来た!撮ってほしい!」ととてもうれしそうでした。終わりの会では、私自身の大学時代の実験の話をさせてもらいました。何か月も実験が上手くいかずに悩んでいた時、間違って薬品を入れてしまったら、たまたま成功したこと。新しい発明は、失敗から生まれることがあることを学んだ、と伝えました。

もしかしたら、この実験がきっかけで未来の科学者が誕生するかも。スクールでは、子どもたちの無限の可能性に働きかけるきっかけをたくさん提供できれば、と思っています(上田理恵子)。

【次回の予定】

2015年8月19日(水)~8月21日(金)、サマースクール2015in信州を開催予定です。ご予約、受け付けております。希望のプログラムにつきまして、リクエストを受付中です!

